

Ⅲ 文学部で取得できる資格

日本語教員養成課程

本学の日本語教員養成課程は、日本語を母語としない人たちに日本語を教える人材（日本語教師）を育成する目的で2003年に開設されました。日本語教師は、日本国内に限らず、海外の日本語学校や中学・高等学校・大学など様々な場所に活躍の場があります。近年では、国内の日本語教師の需要の高まりを受け、2024年に国家資格「登録日本語教員」が新設されました。

本課程は、文学部全学科の学生を対象に開講しています。日本語教育に関する専門的な知識を備え、多様な日本語学習者のニーズに応じた適切な教育実践ができる日本語教師の養成を目指します。また、外国人受け入れが拡大する中で、多文化共生社会の実現に向けて、社会の現状と課題を把握し、外国人や日本語学習者に対して適切なサポートができる人材の育成を目指します。

1. 日本語を教える際に求められる資格

1-1. 日本語教員養成課程修了証

本学では、以下の2つの要件を満たした場合、卒業時に日本語教員養成課程の修了書が授与されます。

- (1) 本学を卒業し、学士の学位を取得すること。
- (2) 日本語教員養成課程の授業科目30単位以上（必修16単位、選択必修14単位以上）を修得すること。

海外で日本語を教える場合やプライベートで日本語を教える際には、国家資格「登録日本語教員」は必要ありませんが、多くの場合、この日本語教員養成課程修了証が求められます。

1-2. 国家資格「登録日本語教員」

国内の日本語学校等の認定日本語教育機関で日本語を教える際には国家資格「登録日本語教員」を取得していることが求められます。「登録日本語教員」の取得には、日本語教員試験（基礎試験・応用試験）の合格と実践研修の修了が必要ですが、本課程を修了すると基礎試験と実践研修が免除となり、応用試験に合格すれば資格を得ることができます。

2. 履修方法

2-1. 受講登録年次及び履修期間

- (1) 日本語教員養成課程に受講登録できる学年は、原則として1・2年次のみです。
- (2) 履修期間は、通常2年半から3年です。
- (3) 図書館情報学課程とは同時に履修することができません。教職課程とは同時履修が可能です。

2-2. 受講登録

- (1) 登録手続き

「日本語文法 a」もしくは「日本語文法 b」を履修登録し、受講料を支払います。これによって、

日本語教員養成課程履修者として登録手続きを行います。

(2) 受講料

受講希望者は、指定期日までに受講料（5万円）を納入します。この受講料は在学中、課程修了まで有効です。受講料は一度納入すると途中で履修を放棄しても返却されません。

2-3. 履修の流れ

(1) 履修方法

- ・授業科目は必修科目と選択必修科目に分けられています。
- ・まず、「日本語文法」を必ず最初に履修します。
- ・また、日本語教育実習を除く5つの区分から必要な単位を修得します。
- ・必修科目（8科目16単位）を全て修得した後、日本語教育実習（「日本語教育実習」「海外日本語教育実習」）を履修できます。
- ・日本語教育実習は、「日本語教育実習」と「海外日本語教育実習」があり、どちらかを履修しなければなりません。

区分	必修科目	選択必修科目 ※教育課程表の選択必修科目から
言語	日本語文法 a (2 単位) 日本語文法 b (2 単位) 音声学 (2 単位)	4 単位以上
言語と社会	社会言語学 a (2 単位)	2 単位以上
言語と心理	日本語の学習と習得 (2 単位)	2 単位以上
社会・文化・地域	日本語教育概論 (2 単位)	2 単位以上
言語と教育	日本語教授法 a (2 単位) 日本語教授法 b (2 単位)	2 単位以上
日本語教育実習		日本語教育実習 (2 単位)、海外日本語教育実習 (2 単位) から 2 単位以上
計	8 科目 (16 単位)	14 単位以上

(2) 選択科目の読み替え科目について

- ・課程独自の科目を履修することが望ましいですが、履修単位の負担を軽減するために、読み替え科目を設置しています。
- ・基盤教育科目や学科科目、教職課程の科目のうち、日本語教員養成課程の各区分の内容にふさわしいと考えられるものが読み替えられています。
- ・読み替え科目は、日本語教員養成課程の単位としても、また基盤教育科目・学科科目の単位としてもカウントされます。

日本語教員養成課程課程表

日本語教員養成課程の授業科目は、次の教育課程表に示した必修科目及び選択必修科目に区分されます。日本語教員養成課程の修了要件は、学士の学位授与の認定要件を充たすと同時に、次の区分別に定められた必修 16 単位、選択必修 14 単位以上、合計 30 単位以上を修得しなければなりません。

区分	科目 No.	ナンバリングコード	授業科目	単位数		開講学年・週時数								開設学科	備考	
				必修	選択	1年		2年		3年		4年				
						前	後	前	後	前	後	前	後			
言語	N0171	JPT-L-1-N0171	日本語文法 a	2		2		2							* 課程	4 単位以上選択必修
	N0181	JPT-L-1-N0181	日本語文法 b	2			2		2						* 課程	
	N0031	JPT-L-1-N0031	音声学	2			2		2						* 課程	
	N0061	JPT-L-1-N0061	対照言語学		2	2		2		2					* 課程	
	※		言語学概論 a		2										基盤・英文	
	※		言語学概論 b		2										基盤・英文	
	※		日本語学 A		2										基盤・日文	
言語と社会	N0251	JPT-L-1-N0251	社会言語学 a	2		2		2		2					* 課程	2 単位以上選択必修
	N0261	JPT-L-1-N0261	社会言語学 b		2		2		2		2				* 課程	
	※		異文化コミュニケーション論		2										基盤・文総	
	※		コミュニケーション概論 a		2										基盤・英文	
	※		コミュニケーション概論 b		2										基盤・英文	
言語と心理	N0091	JPT-L-2-N0091	日本語の学習と習得	2			2		2		2				* 課程	2 単位以上選択必修
	N0081	JPT-L-2-N0081	第二言語習得概論		2		2		2						* 課程	
	※		教育心理学		2										教職	
社会・文化・地域	N0301	JPT-L-2-N0301	日本語教育概論	2		2		2		2					* 課程	2 単位以上選択必修
	※		グローバル文化論		2										基盤	
	※		日本文化 A		2										基盤・日文	
	※		日本文化 B		2										基盤・日文	
	※		国際関係論		2										基盤・文総	
言語と教育	N0311	JPT-L-2-N0311	日本語教授法 a	2				2		2					* 課程	2 単位以上選択必修
	N0321	JPT-L-2-N0321	日本語教授法 b	2					2		2				* 課程	
	N0271	JPT-L-1-N0271	コミュニケーション教育		2	2		2		2					* 課程	
	※		教育方法論 (教育現場での ICT 活用を含む)		2										教職	
日本語教育実習	N0331	JPT-P-3-N0331	日本語教育実習	2					3		3				* 課程	卒業年次履修不可
	N0332	JPT-P-3-N0332							3		3				* 課程	
	N0341	JPT-P-3-N0341	海外日本語教育実習		2				○		○				* 課程	
			計	16	38											30 単位以上

注 1. 「日本語教育実習」「海外日本語教育実習」は全ての必修科目 8 科目 (16 単位) を修得していなければ、履修できません。

注 2. 日本語教員養成課程独自に開設している科目は、卒業要件として加算されません。

(開設学科欄に * 課程と表示している科目)

※印は、開設学科・課程の教育課程表を参照。